

ウイルス対策等に関する現況調査

記 載 要 領

1 調査の目的

この調査は、学内 LAN に接続するパソコン等のウイルス対策等に関する現状を把握し、これを情報セキュリティ対策における基礎資料とすることで、学内における安全な情報利用を図ることを目的とするものです。

※ 以上のとおり、本調査の結果は、今後の情報セキュリティ対策の検討のための基礎資料としてのみ用いられるものであり、いかなる内容の回答についても、他の用途に用いることはありませんので、ありのままの実態を回答してください。

なお、調査表には、パソコン等の使用者名を記載する回答項目がありますが、これはあくまでも機器の特定のための便宜的な項目ですので、各所属において確実に特定・識別できる場合にあっては、パソコン等の機種名、仮の名前又はコード番号等による記載であっても構いません。

2 調査の主体

この調査は、各所属における情報セキュリティ担当者が中心となって、当該所属内で用いられているパソコン等について、現認若しくは使用者の申告に基づき調査表をとりまとめた上、附属総合情報センターに回答の後、同センターにおいて集計・分析等を行います。

3 調査の対象

(1) 人的範囲

この調査におけるパソコン等の使用者は次の各号に掲げる者とします。

- ① 教職員（臨時・非常勤の者を含む）
- ② 大学院生
- ③ 訪問研究員
- ④ 研究生
- ⑤ その他各所属においてパソコン等を使用する者

但し、①のうち非常勤雇用の者及び②～⑤のうち、各所属の施設への立入が不定期的な者や立入頻度が極めて少ない者など、現状の把握が困難な事情がある場合については、各情報セキュリティ担当者がこの調査を行っている期間内に把握が可能な範囲での回答で構いません。

(2) 物的範囲

この調査の物的対象は、次の各号に掲げる機器で、学内 LAN に接続（常時接続・随時接続の双方を含む。）しているもの（するもの）すべてを対象とします。

※ 私物のパソコン等を含みます。

- ① パーソナルコンピュータ
- ② サーバー
- ③ Windows タブレット
- ④ NAS（Network Attached Storage／外付けハードディスクで LAN 接続によって使用するもの）

サーバーについては、いわゆるサーバー専用機器のみならず、通常のパーソナルコンピュータ等をサーバーとして利用している場合を含みます。また、タブレットについては、今回の調査では Windows を OS とするものに限り、Android、iOS 等を OS とするものは除外します。

4 所属の区分について

今回の調査については、便宜上、別紙「所属コード一覧」の所属区分で行いますが、当該所属区分に基づく調査の実施にあたっては、次の事項にご協力をお願いします。

- ① 各講座等については、関連する寄附講座等を含むこと
- ② 医学部臨床医学部門の各講座については、病院の各診療科等を含むこと

なお、上記の所属区分により難い事由がある場合、その他不都合がある場合等については、別途記載の連絡先までご連絡をお願いします。

5 回答方法の概要

(1) 調査表ファイル等のダウンロード

学内ホームページから調査表ファイル等（他の通知文等とまとめてひとつの zip ファイルになっています。）をダウンロードしてください。

※ 別途、各情報セキュリティ担当者あて電子メールにてファイル一式をお送りしますが、アドレス違い等で不達の場合も想定されますので、その際はダウンロードをしてご利用ください。

URL : <https://infonavi.sapmed.ac.jp/jpn/download/245/>

※ 大学ホームページ → 総合情報センター → ダウンロード（新着ダウンロード）
「ウイルス対策等に関する現況調査について」

(2) 所属コードの確認

別紙の「所属コード一覧」又は調査表ファイル内の「所属コード」シートに所属コードのリストがありますので、確認してください。

(3) 調査表ファイルのファイル名変更

ダウンロード若しくは電子メールにて送付した時点においては、調査表のファイル名は、「02_現況調査.xlsx」ですが、このファイル名の「02」の部分所属コードに変更してください。

(例) 医学部解剖学第一講座の場合

Before : 02_現況調査.xlsx

↓

After : 101_現況調査.xlsx

※ 各所属からファイルが送られてきた際に、ファイル名が元のままであったり、日本語で講座名等が書き足されていたりといった不統一な状態だと、チェック作業等に多くの時間を要すことになってしまいます。

お手数をおかけしますが、このような趣旨をご理解いただき、ファイル名表記の統一にご協力をお願いします。

(4) 調査表ファイルへの入力・保存、返送

7の記載要領にしたがって必要事項を入力・保存の上、調査表ファイルを電子メールにてご返送ください。

【送付先】 icccj@sapmed.ac.jp

(附属総合情報センター 総務・システム係)

6 回答期限

2018(平成 30)年 8 月 29 日(水)

※ ご多忙の折恐縮ですが、期限厳守にご協力をお願いします。

お問い合わせ先

附属総合情報センター 総務・システム係 内線 : 22390、22490、24140

7 記載要領

(1) 所属コード

別紙「所属コード一覧」又は調査表ファイル内の「所属コード」シートを確認の上、該当するコード番号を入力してください（半角数字）。

(2) 所属名称（入力不要項目）

(1)の所属コードを入力すると、所属名称が自動表示されます。

(3) 情報セキュリティ管理者 職・氏名

各所属の長の職・氏名を入力してください。

(4) 情報セキュリティ担当者 職・氏名／連絡先メールアドレス／連絡先内線番号

情報セキュリティ担当者の職氏名と連絡先を入力してください。

(5) 情報センター使用欄（入力不要項目）

各所属から回答をいただいた後に、総合情報センターにおいてデータ整理等のために使用する項目ですので、何も入力せずにそのままにしておいてください（初期値＝0）。

(6) Ser. #（入力不要項目）

各所属ごとの通し番号があらかじめ付番してありますので、このままにしておいてください。

なお、通し番号は最大 120 まで付番してありますが、120 台を超える台数の機器を保有している所属がある場合については、別途ご連絡をお願いします。

(7) 1. PC 等の使用者

使用者の氏名を入力してください。この際、姓と名の間にスペースをひとつはさんでください。所属内で複数の者が共用しているパソコン等については「共用」としてください。

また、サーバー機器の場合で、当該機器の管理者（又は運用担当者等）が定まっている場合については、当該管理者（又は運用担当者等）の氏名を、特に定まっていない場合については、「共用」としてください。

なお、文字別の表記方法は次のとおりです。

- ・ 日本語文字表記（漢字、ひらがな、カタカナ）
すべて全角文字で表記し、姓と名の間のスペースも全角とします。
- ・ アルファベット表記
すべて半角文字で表記し、姓と名の間のスペースも半角とします。

※ 外国人の氏名の表記について

漢字圏の国を国籍国とする者で、日本語における漢字で表記可能な場合については漢字表記、日本語の漢字で表記不能な場合はカタカナ表記とし、それ以外の国を国籍国とする者については、カタカナ表記を原則とします。

ただし、いずれの国籍国にあっても、カタカナ表記が実際の発音等と相当に異なる場合にあっては、アルファベット表記とし、この場合、姓はすべての文字を大文字表記としてください。

※ 氏名表記に代わる表記について

本調査における氏名の項目は、機器の特定・識別のために便宜的に記載を求めているものに過ぎず、調査の趣旨からも、特定個人のウィルス対策状況を問題にするものではありません。

このため、氏名の記載に代えて、パソコン等のメーカー及び機種名、仮の氏名又はコード番号など、各所属において、該当する機器が常に特定・識別できる限りにおいて、氏名以外の文字列を用いることができます。

(事後的な確認等作業の効率性を考慮した場合、特段の事情がない限りは、氏名を記載されることをお奨めします。)

(8) 2. 整理番号

(5)において、同一人が複数の機器を使用している場合又は共用のパソコンが複数台ある場合など、「1. PC等の使用者」欄だけでは区別が付かない場合、1から順番に2、3、4.....と順に付番してください(初期値が0になっていますので、これを書き換えてください)。

この場合、次の事項にご留意ください。

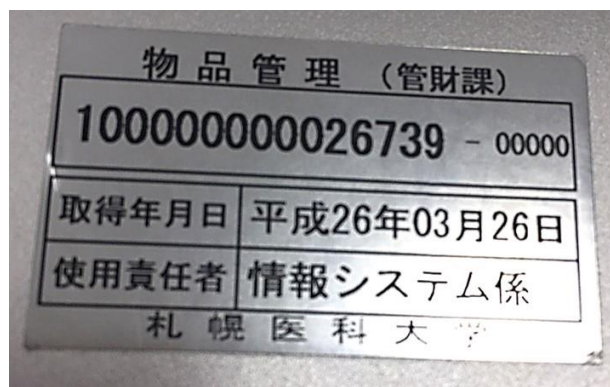
- ・ 一人が一台だけ使用している場合 整理番号は「0」のままとする
- ・ 一人が複数台を使用している場合 整理番号は一台目から「1」から始まる

(9) 3. 備品番号

パソコン等が備品登録されている場合については、備品番号を入力してください。

備品登録済みの機器については、右の写真のようなシールが貼付されています。

右の写真の場合、"100000000026739"が備品番号になります(全部で15桁です。ゼロの個数に注意してください。)。



(10) 4. 所有区分

当該機器の所有区分について次の選択肢から選択してください。

01_公有

02_私有

個人が所有する機器を持ち込んで使用している場合については、「02_私有」を選択してください。

また、補助金等で調達した機器等で、正確には法人の所有物になっていないもの等についても、今回の調査にあつては、「01_公有」に区分してください（私有のもの以外は公有として区分して構いません。）。

(11) 5. 確認方法

調査表の記載内容が、情報セキュリティ担当者自らが現物確認を行ったものである場合については「01_現認」を、使用者からの申告に基づく記載内容の場合は「02_申告」を選択してください。

01_現認

02_申告

(12) 6. PC 等の種別

パソコン等の種類について、次の選択肢から選択してください。

101_ノートパソコン（据置使用）

102_ノートパソコン（持ち運び使用）

103_パソコン（デスクトップ型）

104_サーバー

105_Windows タブレット

106_NAS

ノートパソコンの「据置」か「持ち運び」かの区別については、主な使用方法がいずれかによって判断しますが、持ち運び使用の用に供している時間が全体の約 1 割以上にあたるものについては、「持ち運び使用」に区分してください。

サーバーについては、いわゆるサーバー専用機として販売されているものに限らず、通常のパソコン等をサーバー用途に用いている場合についても含むこととします。

NAS（Network Attached Storage）とは、外付けのハードディスクドライブで、LAN を経由してパソコン等と接続されるものを指します。

(13) 7. OS

パソコン等で用いられている OS の種類を次の選択肢から選択してください。

201_Windows

202_MacOS

203_Linux

204_Unix

299_その他

Linux をベースにして作成された OS には、多くの製品がありますが、ここの選択肢では「203_Linux」を選択の上、次のバージョン記載欄において、製品名とともにバージョンを記載してください。

前問で「NAS」を選択した場合で、OS の種類が不明なものについては、便宜上「203_Linux」を選択してください。

(14) 8. OS のバージョン

7 で回答した OS のバージョンを入力してください。

※ リリース番号までは入力する必要はありません。

(例) Windows の場合

XP、Vista、7、8.1、10

MacOS の場合

10.10、10.11、10.12

(15) 9. 学内統一ウイルス対策ソフトのインストール有無

インストールの有無について、次の選択肢から選択してください。

※ 学内統一ウイルス対策ソフトとは、平成 30 年 4 月より学内配付を開始した、トレンドマイクロ社ウイルスバスターコーポレートエディションの事を指します。

学内ネットワークに接続するパソコン機器等については、必ず導入する必要があります。

301_あり

302_なし

(16) 10. セキュリティ対策ソフトの種類

9で「302_なし」を選択した場合、インストールされているセキュリティ対策ソフトの種類（製品名）を次の選択肢から選択してください。

401_ Windows Defender

499_その他

(17) 11. その他の場合の名称

10で「499_その他」を選択した場合、その製品名を記載してください。

(18) 12. 個人情報等の保存の有無

該当するパソコン等に個人情報等が保存されているかについて、次の選択肢から選択してください。

501_あり

502_なし

※ 「個人情報等」の定義について

個人情報保護法等の法令においては、個人を特定するに足る又は比較的容易な作業によって特定に至る情報を広く「個人情報」ととらえますが、本調査においては、次に掲げる情報を「個人情報等」と定義することとします。

- ・ 患者、学生に関する個人情報
- ・ 教育・研究に関する情報のうち特に秘匿性が高いもの
- ・ その他、漏洩した際に著しい人権侵害や損害の発生が予見される情報

このため、広義においては個人情報とされる、所属内の親睦会の名簿、職員の連絡網等については、本調査の「個人情報等」からは除外することとします。

(19) 13. 9が「なし」の場合、その理由

学内統一ウイルス対策ソフトのインストールの有無について、「なし」を選択した場合、その理由について、次の選択肢から選択してください。

601_PCの動作速度に影響が出る

602_特定のアプリケーション等の利用に支障が生じる

699_その他

(20) 14. 13で「その他」の場合、その理由

前問で「その他」を選択した場合、その具体的理由を記載してください。